

感染症についてのお知らせ



墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所3階
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和3年
7月号

東京都内の感染症流行情報

RSウイルス感染症の定点当たり報告数が、2003年以来最も高い値となっています。都内13保健所管内では定点当たり報告数が5.0以上となっています。咽頭結膜熱(プール熱)は、一部の地域で増加が見られます。

感染症のお知らせ

RSウイルス感染症について

乳幼児を中心に流行するRSウイルス感染症の報告が都内で急増しています。また、保育所等での複数感染事例も報告されています。

RSウイルス感染症は、かぜに似た症状で多くの場合軽症で治まりますが、感染力が強く、1歳未満の乳児の場合や、先天性心疾患、慢性肺疾患などを持つ小児の場合は、重症化するおそれがあるため、早めの受診や感染予防にこころがけてください。

また、保育所や幼稚園などにおいては、保護者や職員を含めた手指衛生の徹底や、咳などの症状がある場合に無理をさせないなど、感染を拡大させないための注意が必要です。

<RSウイルス感染症の発生状況>

- ・令和3年第25週(6月21日~27日)において、都内264か所の定点医療機関(小児科)から報告された患者数は、1,238人(1定点当たり4.80人)で、平成15年の調査開始以来、最も高い値となっています。
- ・第1週から第24週までの報告では、患者の75%が2歳以下の小児でした。

<早めの受診とかかりつけ医への相談>

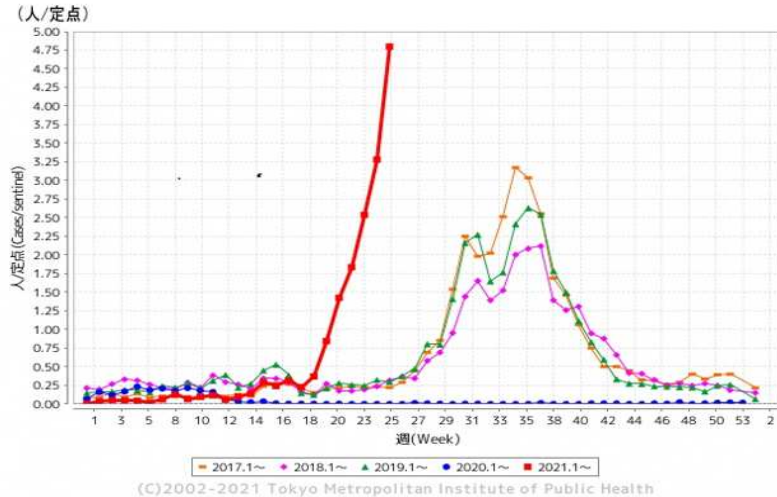
- ・呼吸が速い、息苦しそうにしている、肩や全身を使って息をしている、顔色が悪い、元気がないなどの様子が見られた場合には、早めに受診しましょう。
- ・先天性心疾患や慢性肺疾患をもつ小児の場合などは、かかりつけ医に相談し、感染予防や病気にかかった場合の対応などについて助言を受けておきましょう。

<感染の予防>

- ・RSウイルス感染症は、咳やくしゃみによりウイルスを含むしぶきを吸い込む(飛まつ感染)、あるいは手指などを介して、ウイルスが口や目に接触することによって感染します(接触感染)。
- ・保護者の方や保育所等の職員の方などは、手指衛生やマスクの着用、咳やくしゃみをする時は口と鼻をティッシュ等で覆うなど、感染防止にこころがけましょう。
- ・咳などの症状のある場合は、登園を見合わせるなど無理をさせないように配慮しましょう。

RSウイルス感染症の発生状況

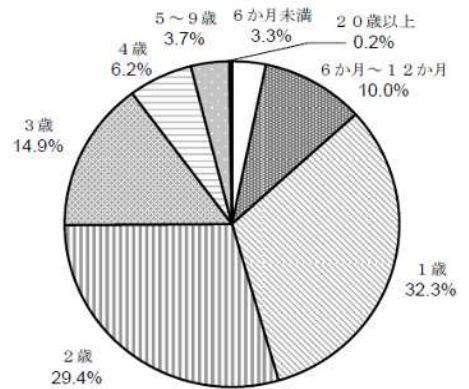
○ RSウイルス感染症の患者報告数の推移（2017年から2021年）



○ RSウイルス感染症の患者報告数の年齢階層別内訳

(令和3年第1週から第24週分)

累計報告数 (n=3,184)



福祉保健局 R3年6月24日資料より

咽頭結膜熱(プール熱)

咽頭結膜熱とは、アデノウイルスによる感染症です。流行時期は夏期で、プールでの感染があることから「プール熱」とも呼ばれます。

<原因と感染経路>

病原菌はアデノウイルスです。感染力が非常に強く、咽頭結膜熱にかかった人の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことにより感染(飛沫感染)します。また、患者が触れたタオルやウイルスが付着した手を介して感染します。(接触感染)

<症状>

潜伏期間は5~7日程度です。発熱、咽頭炎、結膜炎が3主症状で、そのほか、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などを生じることもあります。症状は1~2週間程度でおさまります。まれに重症肺炎を合併することがあります。

<治療>

症状に応じた対症療法となります。咽頭炎によるのどの痛みもあるので、食事をとりやすいよう、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけましょう。

<予防のポイント>

こまめに手洗い、うがいを行うことが大切です。

プールや温泉施設を利用する際は、前後に必ずシャワーを浴び、タオルは個別にし、手は石けんと流水で十分洗いましょう。

<学校保健安全法の登校の基準>

発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が消退した後2日を経過するまでは出席停止となっています。

このお知らせは、東京都感染症情報センター (<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>) の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」 (<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/>) を基に作成しています。